

令和3年度文書館企画展示

「寺請・寺送り・往来手形文書」を 開催しています

会期 10月30日(土)まで

現在開催中の龍雲寺文書関連の後期企画展示は、近世の当地の村人が領主や村からどのような制約を受けて暮らしていたのか、また、それらの制約よりさらに強固な「寺請」について、文書館で収蔵している文書やその他の史料写真を用いて解説を行っています。

「宗門人別改帳」を特別展示

さらに、今回の展示では、収蔵者の方々にご理解とご協力をいただき、貴重な「宗門人別改帳」の原本や複製資料を特別に展示しています。

この中に、文化15(1818)年の福原新田(福原村)の「宗門人別改帳」があります。福原は寛永年間(1624~1645)に開かれた新田村ですが、明治初期の旧名主家焼失により、多くの村方文書が失われました。このため、近世史料は極めて少なく、人別帳として唯一残されているこの史料は大変に貴重なものといえます。人別帳は、現在の戸籍台帳にも相当するもので、当時の村の総家数

や総人口が分かるのみでなく、村人たちの営みを計り知るためにこの上ない史料となります。

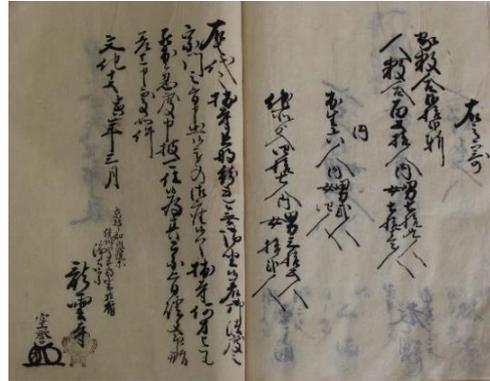


写真: 福原新田「宗門人別御改書上帳控」
(文化15年)[個人蔵]



写真: 雁田村「禅宗 宗門御改帳控」
(享和3年)[個人蔵]

文書館講演会を開催します

「龍雲寺文書」の収集・寄託者である小林暢雄さんを講師に、貴重な史料から見えてくる近世の村人の暮らしについてお話をさせていただきます。

受講料は無料、申込みも不要です。
この機会にぜひ、ご参加ください。

日時 6月19日(土) 午後2時~3時30分
会場 小布施町公民館3階 講堂
テーマ 「寺請・寺送り・往来手形文書」
講師 郷土史家 小林暢雄さん



写真: 寺送り文書(安永5年)

※ ご来場の際は、マスクの着用をお願いいたします。また、熱がある場合、体調のすぐれない場合は、参加をご遠慮ください。